

令和7年度 第2回まちづくりふれあい懇談会記録書

1 日 時 令和7年8月19日(火)午後6時30分～7時23分(53分)

2 場 所 向陽住民センター 多目的ホール

3 出席者 一般出席者 7人

網走市出席者 10人(市長、教育長、

企画総務部長、建設港湾部長、

市民環境部次長、廃棄物処理広域化推進室参事、

都市整備課長、都市管理課長、

企画調整課長、企画調整課参事)

町連等出席者 3人(副会長、地区連会長、社会福祉協議会職員)

計 20人

4 議事進行 地区連会長

5 進行記録

18:30 開会

18:31 市長あいさつ

18:32 副会長あいさつ

18:34 テーマ(1)ごみの広域処理について

18:46 テーマ(2)街路樹再編計画について

18:56 テーマ(3)公園等を利用した雪置き場の活用について

19:05 その他

19:22 市長あいさつ

19:23 閉会

6 質疑など

【テーマ(1)ごみの広域処理について】

無し

【テーマ(2)街路樹再編計画について】

無し

【テーマ(3)公園等を利用した雪置き場の活用について】

参加者

向陽ヶ丘第2公園のフェンスを取っていただいたことによって、雪置き場として使いやすくなった。近隣の住民の方から感謝の声があった。感謝の言葉をお伝えしたいと思います。第1公園(東中央町内会)もありますので、空いている公園なので使わせていただいて、どんどんこういうふうに進めてほしいと思います。
空き地の方は、本当に空いているのかどうか非常に分かりづらい面がある。まずは、公園から進めてほしいと思います。どうもありがとうございました。またよろしくお願いします。

【その他】

参加者

私は、住民センターの運営委員会をさせていただいている。各方面と相談しながら、できるだけ利用が維持されて、避難所といわれているような住民センターを目指している。直近で言えば、クーリングシェルターについてですが、熱中症警戒アラートが出た場合には開設するが、それ以外にも独自の判断でクーリングシェルターを開設している。これまで延べ107人が利用している。エアコンについては、本来のセンター利用している方が涼しい環境で利用できるように、整備をお願いしたい。
もう一つは、住民センターは社会教育の拠点と考えていて、子どもたちを集めたイベントなどできるだけここで行われやすいように推進したいと思っている。エコーセンターで講師を務めている方が向陽に住んでいることが分かり、いろいろと声をかけると、イベントがどんどん膨らんで大きなイベントになりました。また、桂陽高校の生徒さんが市民活性という学習をされていて、そこが連携して子どもまつりを連合町内会主体としてイベントを行いました。そういうふうにつながるようなことができれば、いろいろなイベントができると思っています。社会教育は、エコーセンターが拠点ではあるが、地域にもちょっとした社会教育イベントが開催できるよう

にご支援をお願いしたい。

例えて言うと、プロジェクターはこういう施設にはほとんど無い。学校に行くと大きな電子黒板がある。エコセンターでさえ大きなテレビが無い。プロジェクターに映してやるような形になっている。住民センターやコミュニティセンターでは、未だにブラウン管テレビが使われている。

できるだけ社会教育機能を、住民センターに持たせていただいて、ご支援をお願いしたいと思っています。

市長

本当に暑くなってまして、クーラーを一番最初に付けたのは向陽住民センターだったと思います。あの時代よりも暑くなっている。この会場もないですし、使う方も増えてくると思います。

そうした意見を受け止めて、ご要望もあったので全体として各コミセン等も含めてお預かりさせていただいて、またご回答させていただければと思います。ただ、本当に暑くなったのは事実ですので、思いとしてはしっかりと受け止めてさせていただきたい。

教育長

社会教育の事業も、年間を通して本数も決まっておりますので、すぐにそうですかとはなりませんけど、内部で協議させていただいて、そういう声が向陽さんから出ていましたよと担当者と話をさせていただいて、来年度以降もし1つでも2つでも可能であれば実現させていきたいと思っています。

参加者

連合町内会の立場で質疑します。

近い将来、絶対に問題になるのは、向陽には金融機関的なものがない。簡易的なものもない。コンビニもない。学校関係はすごく良い状況。ただ、高齢者については、非常に住みづらい。もっと住みやすい向陽にするのであれば、こんなに人がいるのであれば、こういう使いづらさが問題かなと思っています。

ロードヒーティングで溶けた水が、11月中旬から何日間ぐらいたが凍って非常に危ない状況がある。あと、3月下旬から4月上旬にも溶けた水が凍ってしまう。ルール上の決まりはあるだろうけれども、天候に応じてロードヒーティングのスイッチを入れるだとか、簡易的な工夫ができないかなと思います。

市長

コンビニが閉店してしまって、それ以降なかなか店舗もない状況だとは受け止めています。

今後、人口減少と高齢化になって、買い物をどうしていくのかといった問題だとか当然出てくるとしています。ただ、そこに設置をするということは住む方にとって負担なるようでしたら、本末転倒になる。どうしたらこういったことが解決できるか、こちらから出向いていって何かをしていくのか、これから地域みなさんと考えていけたらと思います。これは向陽だけの問題ではなくて、郊外地区も同様の課題を抱えていて、買い物難民と呼ばれている地域もありますし、さまざまな利便性が得られないというところもあると思っていますので、そうした課題も含めて地域みなさんと相談させていた

だければと思いますから、すぐにこうしますとはなかなか言えないですが、そうした課題も含めて地域みなさんと相談させていただければと思います。

建設港湾部長

ロードヒーティングですが、基本的には12月から3月まで稼働しているが、昨年も若干ですが12月入る前に稼働はしています。3月31日までではなく稼働していて、そこは天候を見ながら安全を確保していきたい。
また、11月に入ってすぐ稼働できるよう、早い段階から準備も行っている。

参加者

先ほどの金融機関ですが、住民センターをもっと有効活用できないかと考えており、ここにもATMがあったらもっと住民の方が使いやすいのではないかと思っており、今後、市役所と協議しながら良い地域にしていきたいと思っています。
あと、先ほど12月前にロードヒーティングをそういう工夫をされているということで安心しました。今後ともよろしくお願いします。

市長

斜里の北洋銀行が無くなって、網走の支店に吸収した。釧路信用組合も網走から撤退して、清里に統合したが無くなった。どんどん金融機関そのものが統廃合されている。
ネットバンキングが利用できない方が当然おられるわけですが、ATMの費用でも1台毎年500万円かかる。大変なコストが実はかかる。
それを決してやらないということではなく、そういうこともみんなで情報共有しながら、今後の人口減少社会に対して、地域みなさんと相談をしながら進めていきたい。

参加者

少しずつ、館長さんと相談しながら進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。